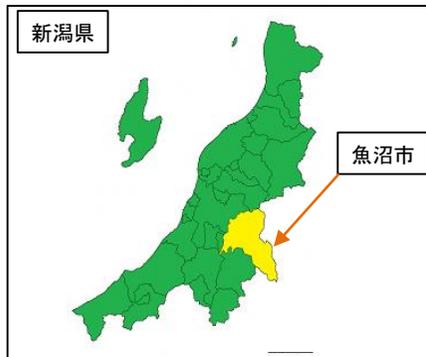


# 地域おこし協力隊と連携した人材確保の取組

うおぬまし 新潟県魚沼市  
ふくやましんでん 福山新田集落協定



- 集落外部からの人材確保のため、田舎暮らしに興味のある都市住民への移住体験、受入支援を実施。移住した地域おこし協力隊OBが担い手として、新たに集落協定に参加。

協定面積：22.7ha（田） 交付金額：421万円（個人配分60%、共同取組活動40%）  
協定参加者：農業者21人 協定開始：平成12年度

## 地域の現状

- 当地区は、冬季には積雪4mにもなる豪雪地帯であり、協定農用地の8割が急傾斜。
- 制度当初から、本交付金を活用し、個別農家を中心に集落として水路や農道の維持・補修を行いながら集落の農地を維持。
- しかし、集落の年齢構成は65才以上が過半を占め、第4期対策中に協定参加者が5名減少するなど、農業者の高齢化と後継者不足が深刻。
- 営農継続やコミュニティの維持には集落外部からの人材確保が必要と考え、地域おこし協力隊員を要望し、H26年から1名着任（当時25才）。



【集落の棚田】



【江ざらい】



【地域おこし協力隊員】

## 取組の概要

- 協定構成員が地域おこし協力隊と連携して、田舎暮らし体験ツアーを実施。集落は農業体験等、訪問者の受入支援、協力隊員は県内外の就農セミナー等でツアー募集や地域への移住を呼びかけ。
- ツアーは春夏秋冬の年4回実施。春から秋は稲作や野菜づくり等の農業体験中心、冬は豪雪の中の生活と雪下ろしなど里山の暮らしを体験。
- 1ターンで移住した協定代表と構成員は、地域住民、協力隊員と連携して移住希望者に、短期滞在可能な「お試し住宅」や空き家の斡旋等の受入支援。地域おこし協力隊OBが移住し、今年度から協定に参加。



【田舎暮らし体験ツアー 春(左)と冬(右)】



【お試し住宅】